

1 月例会 『ワンチャンス』

謹賀新年

新年明けましておめでとうございます

昨年は、自然災害が多く心痛む一年でした。明るい話題は3人のノーベル賞受賞でしょうか。シネマクラブでは7月例会『じんじん』で、絵本読み聞かせサークルのみなさんと一緒に取り組み、たくさんの方と映画とトークを楽しみました。また、明石シネマクラブとの乗り入れという新しい取り組みにも挑戦しました。

今年は、阪神淡路大震災から20年、東日本大震災から4年となります。震災を忘れない、という思いで3月例会は勇気と再生のドキュメンタリー映画『先祖になる』を選びました。私たちシネマクラブも13年を迎えます。ここ2、3年160名の坂をなかなか乗り越えることができず、運営も苦しくなっていますが、「共感もてる映画」「良質な映画」「心暖まる映画」を選び、「人との出会い」を大切に、一年頑張っていこうと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(代表委員、山本芳明)

例会のお知らせ

■名称／第76回例会『ワンチャンス』

■日時／2015年1月22日(木) ①PM2:00～、
②PM4:20～、③PM6:40～

■場所／加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北東へ600m)

■受付／入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡してください。入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

■タイトル／ワンチャンス(原題“One Chance”)

■監督／デビッド・フランケル

■出演／ジェームズ・コーデン、アレクサンドラ・ローチ、ジュリー・ウォルターズ、コルム・ミーニー、ジェミマ・ルーパー

■データ／2013年、イギリス、1時間43分

■ジャンル／ヒューマンドラマ、音楽

■解説／イギリスの人気オーディション番組「ブリテンズ・ゴット・タレント」で優勝したことをきっかけに世界的オペラ歌手となったポール・ポッツの波乱の半生を描



いた作品。

この映画の中のポッツは、ジェームズ・コーデンが演じているが、歌声はポッツ本人の吹替である。

■ストーリー／主人公のポール・ポッツは、イギリスの片田舎に生まれ、子どもの頃から、典型的なイジメられっ子で、大人になっても、冴えないままのケータイ電話販売員。シャイで謙虚、自信の欠片も持てずにきた彼の、誰にも言えない夢はオペラ歌手になることだった。

そんな彼にも、生まれて初めてガールフレンドが出来る。誰も信じてくれない自分の無謀な夢を、まっすぐな瞳で信じ応援してくれる恋人ジュルズ存在に背中を押され、かねてからの夢だったヴェネチアのオペラ学校へと留学を決意するポール。遂に、憧れのパヴァロッティの前で歌う機会を得るが「君は一生オペラ歌手にはなれない」と一蹴され、すっかり自信を喪失する。

失意のどん底で帰国し、すっかり意気消沈してしまったポールに、更に追い打ちをかけるように不運の連続攻撃が始まる。愛するジュルズとの結婚式の後、やっと出演が決まった「アイダ」の舞台で倒れたポールに、甲状腺の腫瘍が見つかる。やっと歌声が戻ったその日に車にぶつかり、鎖骨と肋骨を骨折する。

18カ月後、退院したポールは、入院費で破たんした家計のために再び携帯ショップで働き始める。ネットでオーディション番組「ブリテンズ・ゴット・タレント」の広告を見つけたのは、完全に歌を諦めようとした時だっ

た。ジュルズに背中を押されて応募したポールは、これが最後のチャンスだと決意する。くじけそうな勇気を奮い立たせ、上がった最後の舞台、オーディション番組。緊張に体が震え、何度も逃げ出したくなるポール。ステージが非常口か— 迷うポールに、運命を分けるメールが届く—。

忘年会を開催しました

今年の忘年会は12月14日(日)に10人の参加で開催しました。加古川シネマクラブのメンバーは都合で参加できない人が多く、6人の参加であったのに対し、友好団体の明石シネマクラブの方々が多く参加いただくことになりました。参加者のことも考え、会場を明石市魚住町のイタリア料理店「ラ・バルケッタ」とし、料理に舌鼓を打ちながら、2014年を振り返りました。

話題は、2014年の社会の出来事、家族のことなど身の回りの出来事、会の運営のこの話題が中心で、中でも、スタッフ細胞ねつ造疑惑の件が盛り上がるような状況で、結局、映画談議の時間が少なかったのです。このようなことで、今年は恒例の忘年会で選んだ映画10選が発表できません。誠に残念です。

2015年の忘年会は、多くの人と映画談議ができるような良い年であることを期待しています。

新入会員熱烈歓迎

会員数の減収に伴う会費収入の減収に加え、消費税増税に伴う諸物価高騰のため、会の運営が厳しく、実質的に今月から赤字体質に逆戻りしていると思います。

会員数が最低でも180人に戻れば、細々と映画鑑賞の例会を継続していけますので、お知り合いの映画好きの方に、この会のことを伝えて、入会を検討いただきますようお願いいたします。

明石シネマクラブとの例会相互参加のほか、全国映連の行事への参加、加古川市内での映画イベントの協力など、個人では経験することのできない映画を通じた楽しみにも出会うことができます。

新入会員熱烈歓迎いたします。

前回例会の報告

11月12日の例会では、ドジで不器用な女性秘書が活躍する、明るく楽しいテンポのあるフランス映画「タイピスト！」を鑑賞しました。フランス映画とは思えないオモシロさがあり、参加者からも好評でした。

参加会員106人。

明石シネマクラブ例会情報



■名称／『イーダ』
(2013年、ポーランド・デンマーク合作イギリス、80分)

■解説／「歴史の波に翻弄された少女の成長物語!!」
1960年代初頭のポーランド。孤児として修道院で育った少女アンナは、初めて会ったお婆から自分の本当の名前がイーダ・ベ



ルシュタインであること、そしてユダヤ人であることを明かされる。両親はなぜ自分を捨てたのか、自身の出生の秘密を知るため、イーダはお婆とともに旅に出る。日本では「ポーランド映画祭 2013」で上映されて好評を博し、2014年に単独ロードショー。

■監督・脚本／パベウ・パブリコフスキ

■出演／アガタ・クレシヤ、アガタ・チェシュボフスカ

■日時／2月17日(水) ①PM2:00-、②PM4:30-、③PM7:00-

■場所／アスピア明石9階子午線ホール(JR明石駅東徒歩5分)

■目的・内容／加古川シネマクラブと明石シネマクラブの交流事業として、映画鑑賞の機会を増やし新入会員を増やそうと、例会に相互参加できるようにしています。(2015年5月まで、好評であれば延長します。)

■受付／会場受付で、①加古川シネマクラブの会員であることを証明するもの(氏名が記されている例会参加券が送られてきた封筒など)を提示し、②鑑賞希望であることを告げて、③受付簿にサインする

■明石シネマクラブ TEL 090-3860-6662

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200-300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

http://homepage3.nifty.com/cinemaclub

会員数 157人(11月12日現在)